



岡本眞利子 議員
(政清会)



近年、若者をはじめとする有権者の投票率が低下傾向にある中、有権者が投票しやすい環境を整備し、投票率の向上を図っていくことは喫緊の課題である。

本年6月17日国会において選挙年齢を「18歳以上」とする改正公職選挙法が成立し、来年夏の参議院選挙から18歳以上の人が投票できるようになる。そこで本町としての取り組みを伺う。

- (1) 幕別の新有権者数。
- (2) 新有権者に対する啓発・周知方法。
- (3) 主権者教育の実施についての見解と計画。

選挙管理委員会委員長 (1) 平成27年

8月31日現在の本町の人口集計では、18歳、19歳の人口が502人であり、来年夏の参議院議員通常議員選挙においても同程度の新有権者が見込まれる。

(2) 広報紙やホームページ、文書による啓発に加え、国や道が実施する若年層に対する啓発事業や推進運動とも連携し、啓発、周知の一

問 18歳選挙権引き下げに伴う選挙投票率向上への取り組みについて

答 国、道実施の啓発事業や推進運動とも連携し、できる限りの取り組みを実施したい

層の充実を図っていきたい。また、町内の高等学校に対しては、政治や選挙への意識の高揚を図る取り組みの要請、また町内事業所にも一層の協力を要請するなど、できる限りの取り組みを実施したい。

教育長 (3) 小学校では第6学年の社会科において、政治の仕組みや制度の基本的な考え方について学び、中学校では、民主政治の推進と国民の政治参加との関連や選挙の意義について、自ら考えさせる教育が行われている。

義務教育を担う教育委員会としては、学習指導要領に基づき、今後とも、適切に指導したい。

再質問 18歳選挙権によって主権者教育の充実が急務と考えることから、選挙の意義や投票の仕組みなどを理解してもらうとともに、話し合いや討論、模擬選挙、模擬議会を実施していくことが重要であると認識するが、本町の取り組みは。

答 道の選挙管理委員会では、11月

問 自転車で楽しめる街づくりをめぐらしてスローな観光促進を

答 新たな観光資源の一つとして観光振興を図っていきたい

ぐらいい出前講座により主権者教育を進めたいとの新聞報道が出ていることから、協力体制を組んでいきたい。



問 自転車と人の関係を考えてみると私たちが最も早くから利用する乗り物である。本町には五輪に2大会連続出場した山本幸平選手もおり、このような素晴らしい人材を活用して、町の活性化に結びつけることはできないか伺う。

- (1) さらになるマウンテンバイクコース整備、全道規模の大会誘致の考えは。
- (2) 交通コース、レンタル基地等の検討は。
- (3) 忠類、本町、札内の三拠点を結ぶ自転車専用道路の設置の考え。

町長 (1) 老朽化したコースを再



5月に開催された「2015 MTB 北海道選手権 I N幕別忠類白銀台」

整備し、本年度完成したコースと合わせ、総延長約800メートルのコースを計画している。

また、5月に全道規模の大会が開催され、全道から約70人の選手が参加した。今後も、大会の開催を関係団体に要望していきたい。

- (2) 横断歩道や信号機、踏切など、コースの設置にはかなりのスペースが必要であり、設置は困難と考えている。また、自転車レンタルに対してのニーズは高くはないことから、今後の推移を見守りたい。
- (3) 用地の確保や費用の面から、新たな自転車専用道の整備は難しいが、今後、既存の施設を活用したサイクルルートを検討するとともに、サイクルマップなどの活用による周知に努めていきたい。